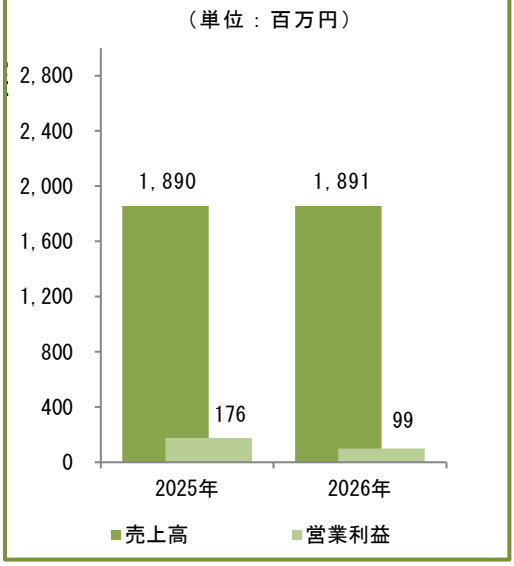
リスモンIR速報

第2四半期の決算状況 / リスモングループトピックス

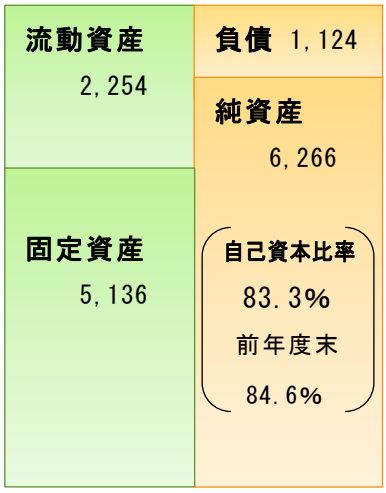
2026年11月

1．2027年３月期　第２四半期(中間期)連結累計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）の決算概況

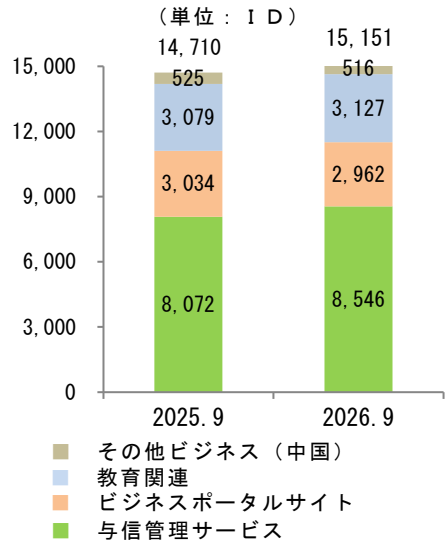
第２四半期（中間期）連結経営成績



連結財政状態



会員数



①　連結経営成績

（）内は前年同期比　（注）EBITDA=営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

売上高	EBIDA（注）	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間期純利益
1,891百万円（100.1%）	527百万円（98.6%）	99百万円（56.1%）	104百万円（56.3%）	66百万円（51.8%）

②　１株当たり情報

純資産（）内は前年度末	中間期純利益（）内は前年同期
818.61円（792.07円）	8.87円（17.00円）

売上高につきましては、与信管理サービス事業、ビジネスポータルサイト事業及びその他サービス事業が堅調に推移したことに伴い、1,891百万円（前年同期比100.1%）となりました。

利益につきましては、新サービス開発、サービスシステム増強及び独自データベースの充実に向けた戦略的投資に加え、マーケティングへの先行投資を実施したこと等から、営業利益は99百万円（前年同期比56.1%）、経常利益は104百万円（前年同期比56.3%）、親会社株主に帰属する中間純利益は66百万円（前年同期比51.8%）となりました。

会員数につきましては、15,151会員と増加しました。

③　業績見通し

	売上高	EBIDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期（中間期）純利益
2027 年３月期予想	3,950 百万円	1,140 百万円	270 百万円	270 百万円	160 百万円
2027 年３月期 中間期実績	1,891 百万円	527 百万円	99 百万円	104 百万円	66 百万円
進捗率	47.9%	46.2%	36.8%	38.7%	41.4%

売上高につきましては、与信管理サービス事業、ビジネスポータルサイト事業及びその他サービス事業が堅調に推移しているものの、ＢＰＯサービス事業の既存案件の処理件数の減少が影響し、当初の予想を下回る見込みです。

利益につきましては、新サービス開発、サービスシステム増強及び独自データベースの充実に向けた戦略的投資に伴う減価償却費の増加や、マーケティングへの先行投資等が利益を押し下げております。

また、ＢＰＯサービス事業においては、既存案件の減少等により上期は損失を計上したものの、採算管理の強化や低採算案件の見直し等を進めており、通期では概ね収支均衡となる見込みです。引き続き、収益構造の改善に取り組んでまいります。

以上のことから、利益は前回公表予想を下回る見込みです。なお、配当につきましては、前回公表値（１株当たり 16.50 円）より変更はありません。

２．リスモングループトピックス

『反社チェックヒートマップ：アラーム通知』をリリース

近年、取引開始時には問題がなかった企業においても、後に反社会的勢力（反社）との関係やコンプライアンス違反、信用不安が顕在化するケースが増えています。一方で、こうしたリスクの継続的な把握は担当者任せになりやすく、見逃しや対応遅れが課題となっています。

本機能は、取引先に関する反社・コンプライアンスリスクの悪化を検知し、メールで自動通知するものです。通知から対象企業の詳細情報を即時確認できるため、取引開始後の継続監視（モニタリング）を実現し、初動対応の迅速化と適切な取引判断を支援します。

詳しくはこちら：https://www.riskmonster.co.jp/pressrelease/post-20864/

API サービスに『反社個人 API』を新規追加

副業・フリーランスの普及に伴う「個人事業主」との取引拡大や、M&A 時の「経営陣・株主」の背景調査、採用時の「入社予定者」のリスク確認など、個人を対象としたコンプライアンスチェックの重要性も拡大しています。

リスクモンスターでは、従来の法人向け API に加え、新たに個人検索に対応した「反社個人 API」を開発しました。法人・個人双方のリスク情報を API で一元管理できる環境を提供することで、審査業務の DX 推進と内部統制強化を支援します。

詳しくはこちら：https://www.riskmonster.co.jp/pressrelease/post-21137/